



令和3年3月19日 14時00分

資料配布 近畿地方整備局

福知山河川国道事務所

福井河川国道事務所

防災対策等検討会議（福井・福知山ブロック）の結果（概要）

- 国道27号福井県・京都府境部（現道延長 約 1.7km）について、有識者による検討会議を開催し、概略の整備ルート(案)について妥当と判断されましたので、お知らせ致します。
- 今後、検討会議での議論等を踏まえ、整備ルート(案)について、適宜、追加調査を行いながら検討を進めて参ります。

< 取り扱い >

< 配布場所 >

京都府政記者室、福井県政記者クラブ

< 問合せ先 >

国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所

副 所 長 ^{ふじた} 藤田 ^{あきひさ} 晶久（内線205）

電話 0773-22-5104(代表)

国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所

副 所 長 ^{うさみ} 宇佐美 ^{みつひろ} 光博（内線205）

電話 0776-35-2661(代表)

防災対策等検討会議（福井・福知山ブロック）の結果について

1. 背景

国道27号福井県・京都府境部は、平成24年1月の豪雪による通行止めが発生したほか、幅員不足・線形不良箇所が存在するなど課題が多い区間となっています。

これらの課題解消に向けて、有識者からなる検討会議を開催し、具体的防災対策について議論しました。



2. 対象地区の概要

区間: 福井県大飯郡高浜町六呂谷～京都府舞鶴市吉坂
 現道延長: 約1.7km

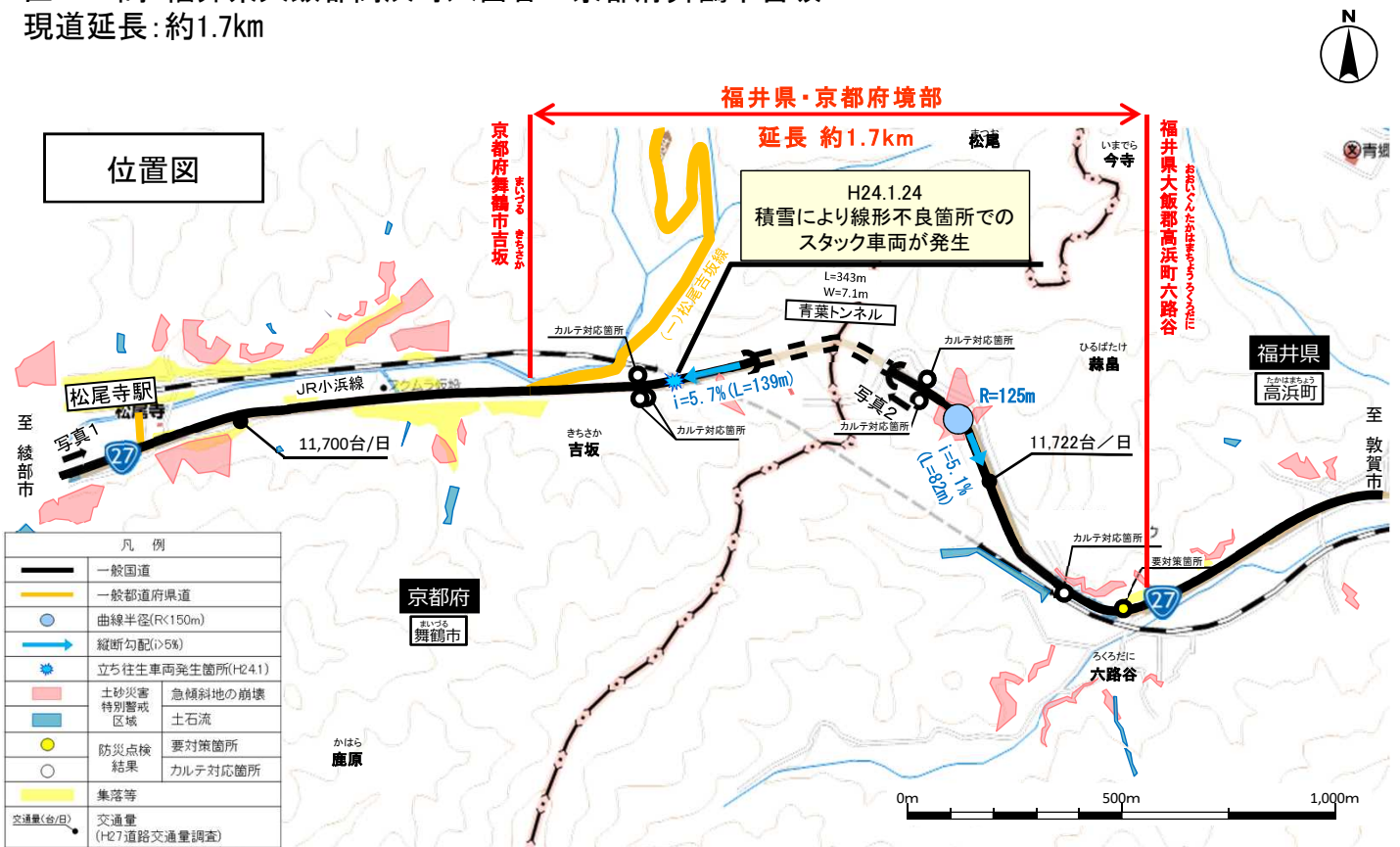


写真1: 立ち往生車両による渋滞



写真2: 大型車通行状況(幅員狭小のため中央線越線)



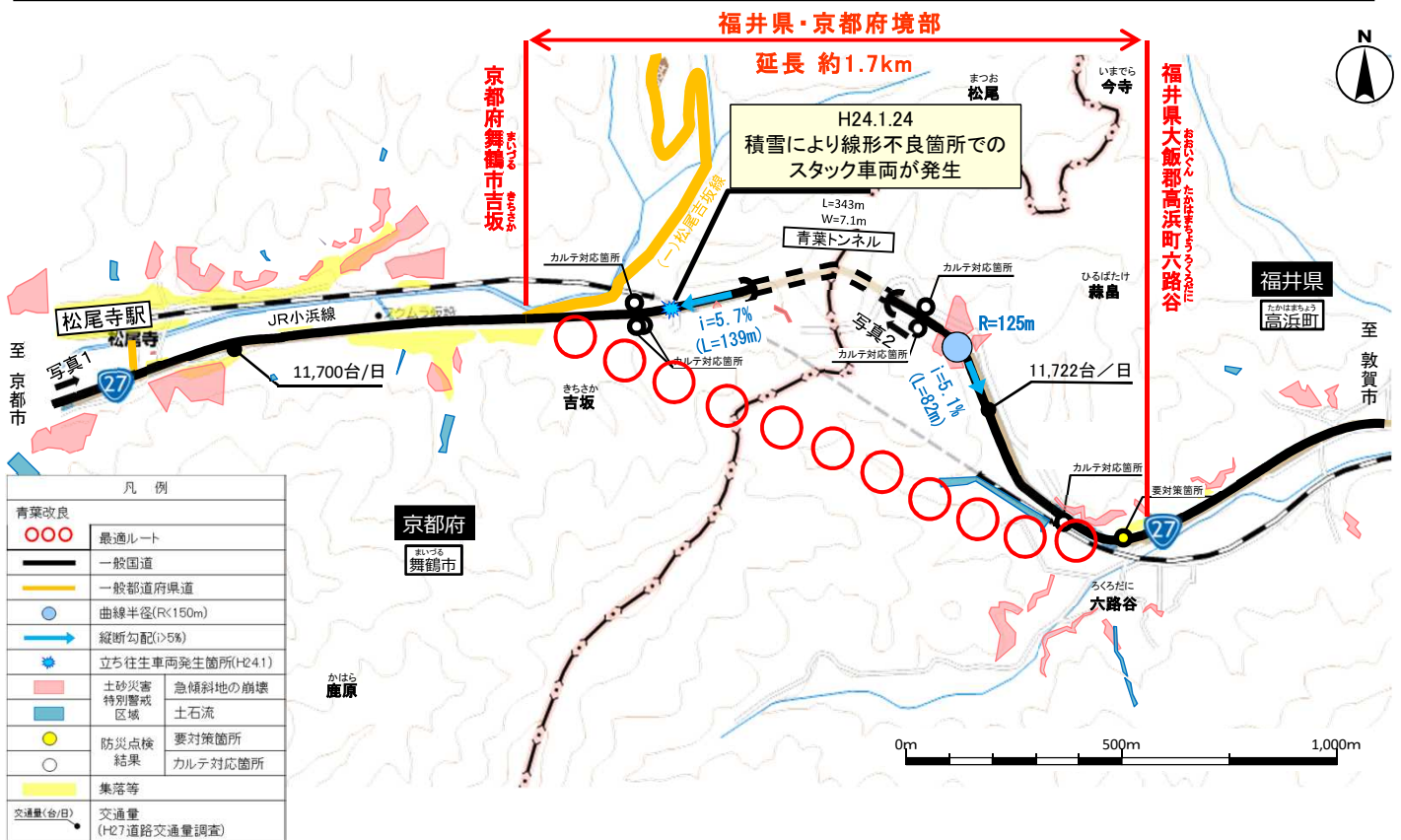
防災対策等検討会議（福井・福知山ブロック）の結果について

3. 検討結果

- 国道27号福井県・京都府境部における、防災等の課題の解決を図るための対策案について、確認。
- 地域の土地の利用状況や地形・地質状況、地域への影響、経済性等を総合的に判断し、概ねのルート位置と道路構造について「妥当」と判断。

■ 主な意見

- 現国道27号の課題を解消し、安定的な道路交通を確保するためには、JR小浜線及び鉄塔との離隔が確保できる別線バイパスルートによる整備が妥当と判断。
- 検討した別線バイパスルートは、線形不良箇所や防災点検要対策箇所等をトンネルや橋梁等の構造により回避しており、安全性が確保されているため、ルート・道路構造は妥当と判断。
- 水文（地下水、井戸等）、地質（炭田坑道等）については、今後、詳細に調査し、施工時のリスクについて確認すること。



【参考】防災対策等検討会議（福井・福知山ブロック） 委員

- ・岸田 潔 (京都大学 教授)
- ・荒井 克彦 (福井大学 名誉教授)
- ・宇佐美 光博 (近畿地方整備局 福井河川国道事務所 副所長)
- ・藤田 晶久 (近畿地方整備局 福知山河川国道事務所 副所長)